

「面接（プレゼンテーションの要素を含む）」の概要

学部	学科	入試区分	テーマ	プレゼンテーション資料	面接の流れ
人間文化学部	保育教育学科	学校推薦型選抜 (一般推薦)	保育・教育・福祉等に関連するテーマについて実施し、質疑応答を含みます。 日ごろから保育・教育・福祉等への関心や問題意識があれば対応できる内容であり、高度な知識や技能を問うものではありません。	試験当日にテーマを提示し、プレゼンテーションの準備をして頂きます。準備の時間は30分程度を予定しており、当日指示します。 プレゼンテーションに必要な物（画用紙やマジック、鉛筆などの筆記用具）は全て大学で用意します。手持ち資料や筆記用具の持ち込みはできません。	プレゼンテーションを5分程度で実施し、プレゼンテーションに関する質疑応答、個別面接という流れになります。面接全体（プレゼンテーション及び個別面接）の時間は30分程度を予定しています。
	地域文化学科	総合型選抜 (自己推薦)	過去3年間で熱心に取り組んだことをA4用紙1枚（片面）にまとめ、発表して頂きます。ダンスや歌等の実演はできません。 熱心に取り組んだこととは、例えば、学業への取り組みや地域課題研究、クラブ活動、ボランティア・学外での活動、資格取得等々などです。	プレゼンテーションの資料は、出願時に他の出願書類と一緒に提出してください。（同じものを5枚用意してください） 用紙の使い方は自由です。用紙の右上に必ず <u>氏名を記入</u> してください。（画像や図表の利用可、パソコン入力・手書きいずれも可、縦横自由）	プレゼンテーションは、面接時間約30分のうち、最初の10分程度です。そのあと質疑応答（プレゼンテーションの内容に関する質問を含む）の流れとなります。